

2年生「フラワーデザイン」最終回

3月10日（水）1年間を締めくくる“オールラウンドの花束”の実践をしました。



バラ、マーガレット、スイートピーを配ります

- ・フラワーアレンジメントの基本、ドームを作ることが難しかったです。毎回、形が不自然になってしまい苦手意識がありました。そんな気持ちで、校内大会を迎えました。自分の考えで、自由にデザインしてもよかったので、不安もありましたが楽しくできました。そして、上手くアレンジできました。このことで、楽しむという気持ちが大切なんだとわかりました。併せて、先生がお手本を実演して下さいます。この時、メモをする事でアレンジメントを理解しやすくなることに気づきました。3年生では、様々なアレンジメントをしたいと思います。より良いものを製作するために、このことを忘れずに取り組んでいきたいです。M,I
- ・これまでアレンジメントやブートニアなど、回数を重ねることで基礎が身につけてきたと思います。花材を挿す順番やフォームの隠し方など分かってきました。これからは、素早く、綺麗にということができるように、スピードも意識して作りたいです。また、2月は卒業式のコサージュをみんなで作りました。みんな、それぞれに素敵なデザイン画を描いていて、私はもっと独創性のあるもの、描き方も葉や花の特徴をしっかりと捉えてわかりやすく描きたいと思いました。これからは、3年生として素早く、丁寧に、綺麗にアレンジメントなどの作品が製作できるようにしたいです。K,F
- ・リースやコサージュ、農業祭での作品製作とどれも初めての体験でした。花との関わり、自分で創作することは、とても楽しかったです。そして、家でも喜んでもらえました。母や母の知り合いもお花が好きで、花への興味が今までで一番増えた一年でした。3年生では、より多くの知識や技術を学び活かしていきます。特に、ドライフラワーについて興味があるので、学べたら嬉しいです。作品へ込める思いも、しっかりと考えながら製作したいです。そのことで、人の目を引きつけるような自分の個性がでる作品になればと思います。A,A



- ・フラワーデザインの実習では、自分でデザインを考えることが多かった気がします。花の意味や役割を考えてデザインするので、やってる感がありました。しかし、まだまだ出来ていないので、3学年では自分の気持ちを花に乗せて、デザインしたいです。この他、リボンも時間がかかってしまったので、速く作れるようにしたいです。それに、他の人を見ていることが多かったと思うので、自分で判断し行動していけるようにしたいです。I,G
- ・私はこの1年間で、コサージュやブーケ、アレンジメントなど製作に必要な知識を得ることが出来ました。特に、誰のために作るのか、どんな場面で渡すのか、花材とラッピングの色、デザインをどうするのか、普段ことばで言えない感謝の気持ちをどう花で伝えるのか、考えることができました。3年時には、校内大会で思うような作品を製作したいです。そのためには、今回出来なかったバック処理とアウトラインをきれいにする必要があります。デモを見て、メモをとって細かな所までしっかり気を配れるように改善していきたいです。N,M
- ・これまで、アレンジメントの技法など基礎的なことを沢山学んできました。そのことで、将来の進路のことや友達との関わり、検定試験にチャレンジするなど幅広く考えたり行動したりでき、楽しくやれたと思います。3学年では、一番苦戦した花束を克服し、誰のために何を作るのか考えて授業を受けたいです。そして、まだまだ技術的に伸ばすことは沢山あるので、一つ一つ丁寧に楽しみながら取り組みます。H,O
- ・フラワーデザインの授業を通して、花についてたくさんのことを学びました。出来なかったことや知らなかったことを経験し、成長できたと思います。中でも、校内大会のように花材の種類と量が決められると自分でデザインし作品製作することが苦手になります。自分で考え作る力は重要になると思います。3学年では、これまで以上に難しいものを作ることになるので、どんなものでも納得できるような作品になるよう努力を続けていきます。そして、さらに多くのことを学び、技術を高めたいです。この授業で学んだことは、将来に役立つし、知っておくと良いマナーが身につくと思うので頑張りたいです。H,M



- ・私はこの1年間、花について沢山のことを学びました。難しいものばかりで、時間もかかりました。特に、ループリボンは、何度やっても上手くいかず、手が吊りそうになりました。花をバランス良く挿せなかったり、完成品に納得いかなかったりしたのがありました。校内大会では、自分で一から考え作らないといけないので大変でした。花束では、ラッピングがなかなか上手くいきませんでした。3学年では、もう少し速く出来るように、友達に頼りすぎないようにしていきたいです。M,S



- ・私はこの1年を通して、たくさんの方の事を学びました。リースやリボン、卒業式に向けてのコサージュ作り等、今までしたことのないことで、とても充実した時間でした。初めての時は、正直上手くできるかわからず心配でした。授業が進んで行くうちに、分かるようになってきて楽しくなっていました。実習が多く大変でしたが、丁寧に教えて戴きましたので、今では一人で完成させるようになりました。1番印象に残っているのは、卒業式のコサージュ作りです。一つ一つ気持ちを込めて作れたことが思い出に残っています。これからの目標は、より上手になり校内大会で良い結果につなげる、です。K, T
- ・このフラワーデザインの授業を通して、いろいろなことに気づきました。植物の絵を描く課題が出たときには、苦手意識がありましたが意外と楽しいと感じました。リース作りのデザイン画も楽しいと思えたので、自分はこういうことが好きなんだと、気づけました。また、ラッピングやリボンは一から学べたので深く考えることが出来る良い機会になりました。将来、日常生活で生かせそうです。課題点は、時間が足りなくなったり、速くやろうとすると雑になったりするところです。時間の使い方を意識して行きたいです。今後の目標は、作品を丁寧にスムーズに作ることです。そのためには、何回も練習が必要だと思うので頑張りたいです。A, K



- ・1年間フラワーデザインの授業で、沢山の知識と技術を身につけることができました。同時に、自分の得意なことと苦手なことが見つけられて、今まで知らなかった自分を知ることが出来ました。自分でデザインすることに苦手意識が有りました。デザインし、製作につなげ発表していくうちに、製作が好きになりました。ラッピングしたものをプレゼントした時に、相手の喜びの気持ちを感じ、また自分も嬉しい気持ちで満たされました。誰かのために心を込めて作ることの大切さを学べたので、これからの授業やそれ以外でも活かしていきます。今の課題は、時間がかかることです。細かいことを気にしすぎないようにしたいです。Y,K
- ・フラワーデザイン、初めての實習では、わからないことだらけで時間ばかりかかっていました。メモをとるにしても、ズラズラと書いていましたが、今では要点をまとめて書けるようになりました。また、フラワーの知識も多く得ました。贈る場面により、花の種類や色、香りを考え、ラッピングの意味や行事の花など多くのことを知ることができました。課題は、1つの作業に時間をかけすぎることと、花を挿したときに、花が下を向いてしまうことです。将来的には、見てくれる人のことを考えたり、贈る相手の喜びを意識したりして行いたいです。また、片付けの時には、周りを見て手伝うことも意識して取り組みたいです。C,I
- ・私はこの1年間で、アレンジメントのことを詳しく知り、實習をとおしてバランス良くつくることができるようになりました。リボンが、なかなか上手くいきませんでしたので、出来るようにしたいです。校内大会では、3年生さんの作品は、一人一人が全然違う個性的なものばかりだったので、自分もそういった作品が作れるようにしていきたいです。そして、いろんなアレンジメントを自分の家にも、飾りたいです。S,S
- ・この1年で、たくさんのことを経験し学ぶことができました。フラワー装飾技能士の受験、卒業生のコサージュなどが、とても印象に残っています。また、自分の苦手分野も知ることができたと思います。今後は、苦手なアレンジメントをきれいに仕上げ、校内大会に活かしていきたい賞がとれるようにしたいです。そのためにも、今後は作業効率を考えながら進めていきたいです。R,K
- ・草花が好きという理由で、このコースを専攻しフラワーデザインを学びました。この授業で、アレンジメントも沢山の種類があり、学ぶことが沢山ありました。リボンの作り方、吸水ホームと挿し方、花材の持ち方など。校内大会では、緊張して思うようにできませんでした。ですが、この失敗や工夫したことを活かす機会は有ると思います。また、季節の行事に合ったものを作ったり、家に持ち帰り親に見せたりすると、喜んでくれて嬉しかったです。まだまだ、課題はたくさんあります。中でも、全体を見て形を整えられるように頑張ります。K,K

「フラワーデザイン」の授業では、四季をとおして実際に作品製作することで、花のある豊かな暮らしをデザインし実現していくことを願っています。その過程の中で、一人ひとりが自分の感性を働かせて花材とする植物の特徴に触れ、同時に日々の営みを見つめ直す。同時に、創造性を働かせ、未来の生活につなげ、膨らませながら、楽しみながら学習することができています。

ちょうど、今年度はコロナ禍で、誰もがこれまでに体験したことない酷く傷心する場面が多い毎日でした。「フラワーデザイン」の力で、家庭や職場、地域社会を元気にしようと思いながら實習することもできました。

引き続き、人の健康と暮らしのクオリティを高められるように、「フラワーデザイン」の活用方法を思考し向かって参ります。